

## 福山通運とJR西日本グループでの貨客混載輸送の検討について

西日本旅客鉄道株式会社(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長:長谷川 一明、以下「JR西日本」)、株式会社ジェイアール西日本マルニックス(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長:蓑輪博司、以下「マルニックス」)、福山通運株式会社(本社:広島県福山市、代表取締役社長:小丸 成洋、以下「福山通運」)は、受託した荷物を山陽新幹線で運ぶ貨客混載輸送の事業化に向けた検討を開始し、今後実証実験等を進めてまいりますので、お知らせいたします。

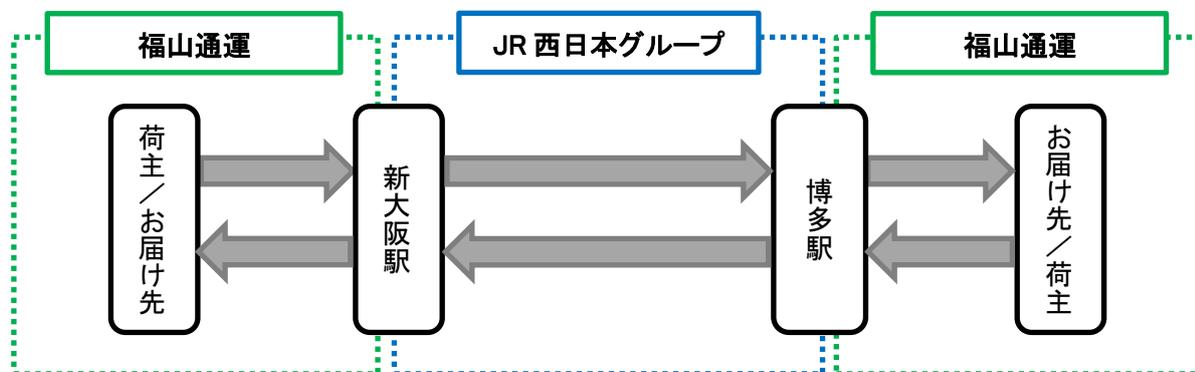
JR西日本グループと福山通運は、新しい時代に相応しいサービスの実現と社会課題の解決に向け、今後も連携しながら挑戦を続けます。

### 1. 検討の目的

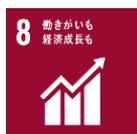
モーダルシフトを図ることによる環境問題・労働問題の解決や、定時性の高い鉄道輸送による新しい価値の創出を目指します。

### 2. 検討中のスキーム

福山通運で開発中の専用ボックスに入れた荷物を、山陽新幹線の車内販売準備スペースに設置し、輸送します。駅間の輸送については、JR西日本グループが請け負います。



今回ご案内の取り組みは、SDGs 目標の 8 番、11 番、13 番、17 番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。